



平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月15日

上場会社名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン
コード番号 3350 URL <http://www.redplanetjapan.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) ティモシー・ハンシング

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 王生 貴久

TEL 050-5835-0966

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	361	25.1	68		87		405	230.3
29年12月期第1四半期	288		10		12		122	

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 711百万円 (479.7%) 29年12月期第1四半期 122百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	1.43	1.20
29年12月期第1四半期	0.46	0.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	14,777	5,372	31.0
29年12月期	12,195	4,236	30.7

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 4,582百万円 29年12月期 3,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		0.00	0.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

平成30年12月期の連結業績予想は、現在精査中であり、当該連結業績予想については、今後、取り纏まり次第速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7 2.四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	289,970,337 株	29年12月期	272,970,337 株
期末自己株式数	30年12月期1Q	50,100 株	29年12月期	50,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	283,053,570 株	29年12月期1Q	269,520,237 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、前連結会計年度より引き続き、ホテル事業に特化し、同事業の持続的な成長と更なる事業基盤の拡大を進めております。

そのための具体的な施策として、当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、ゴールドマン・サックス証券株式会社（以下、「ゴールドマン・サックス」といいます。）との不動産セールアンドリースバック取引を実施いたしました。本取引は、ゴールドマン・サックスが新規設立した合同会社に、当社グループが所有している「レッドプラネット浅草東京」、「レッドプラネット名古屋錦」、「レッドプラネット那覇沖縄」並びに札幌で建設中の新規ホテルの不動産信託受益権を売却するとともに、当該ホテルの運営は当社グループが20年間の賃貸借契約を締結し、引き続き行っていくものです。当社グループは、本取引による売却収入を再投資して日本各地で新たなホテルを建築し事業展開のスピード化を図ってまいります。なお、新規ホテルの開発状況については、「レッドプラネット札幌すすきの南」が平成30年6月1日開業予定、「レッドプラネット札幌すすきの中央（仮称）」が平成31年8月開業予定となっております。

一方、現在運営中のホテルについては、上記セールアンドリースバック取引対象物件も含めて、合計4棟、総客室数581室であります。4ホテルいずれも、引き続き高い稼働率を維持しておりますが、競合ホテルの新規参入等が影響し、客室単価は前年同期と比較して伸び悩む結果となりました。また、費用面において、今後の事業展開に備えて管理・営業部門の積極的な採用を行ったことで人件費負担が増加したこと等により、当第1四半期連結累計期間において営業損失及び経常損失を計上する結果となりました。しかしながら、これらはいずれも当社が更なる成長を目指していく上で必要不可欠なものであり、一時的なコスト高による影響と捉えております。なお、上記セールアンドリースバック取引により固定資産売却益1,219百万円を特別利益に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高361百万円（前年同期比25.1%増）、営業損失68百万円（前年同期は営業利益10百万円）、経常損失87百万円（前年同期は経常損失12百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益405百万円（前年同期比230.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,582百万円増加いたしました。

流動資産は4,456百万円となり、前連結会計年度に比べて1,695百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が1,606百万円増加したためであります。

固定資産は10,321百万円となり、前連結会計年度に比べて886百万円増加しております。これは主に、不動産セールアンドリースバック取引により固定資産が減少した一方、リース資産（純額）が5,248百万円、建設仮勘定が1,072百万円増加したためであります。

負債合計は9,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,445百万円増加しております。これは主に、長期借入金が増加した一方、リース債務が5,078百万円増加したためであります。

純資産合計につきましては、5,372百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,136百万円増加しております。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ215百万円増加したこと、並びに四半期純利益711百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想については、現在精査中であるため、記載しておりません。当該連結業績予想については、算定ができました時点で速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,639,937	3,246,183
売掛金	95,201	115,166
商品及び製品	824	799
原材料及び貯蔵品	2,423	2,507
その他	1,022,008	1,091,387
流動資産合計	2,760,396	4,456,044
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	-	5,248,895
建設仮勘定	1,260,584	2,332,925
その他(純額)	7,485,918	2,079,182
有形固定資産合計	8,746,503	9,661,004
無形固定資産		
のれん	3,603	2,402
その他	215,059	16,939
無形固定資産合計	218,662	19,341
投資その他の資産	469,520	640,699
固定資産合計	9,434,687	10,321,045
資産合計	12,195,083	14,777,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	270,141	30,500
未払法人税等	5,738	125,854
その他	214,492	967,401
流動負債合計	490,372	1,123,755
固定負債		
長期借入金	7,467,205	1,668,600
退職給付に係る負債	1,111	2,005
リース債務	-	5,078,288
その他	-	1,531,607
固定負債合計	7,468,316	8,280,500
負債合計	7,958,688	9,404,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,176	259,059
資本剰余金	3,685,530	3,901,413
利益剰余金	154,805	560,111
自己株式	△138,041	△138,041
株主資本合計	3,745,470	4,582,542
新株予約権	115,924	109,158
非支配株主持分	375,000	681,132
純資産合計	4,236,394	5,372,832
負債純資産合計	12,195,083	14,777,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	288,901	361,349
売上原価	47,111	73,251
売上総利益	241,790	288,098
販売費及び一般管理費	231,596	356,139
営業利益又は営業損失(△)	10,193	△68,041
営業外収益		
受取利息	2,477	4,281
受取保険金	-	1,988
その他	487	240
営業外収益合計	2,965	6,510
営業外費用		
支払利息	17,792	25,870
持分法による投資損失	7,614	-
その他	32	506
営業外費用合計	25,439	26,377
経常損失(△)	△12,279	△87,907
特別利益		
関係会社株式売却益	138,936	-
固定資産売却益	-	1,219,152
受取損害賠償金	2	-
特別利益合計	138,939	1,219,152
特別損失		
違約金	-	178,309
和解金	3,633	37,000
繰上返済精算金	-	105,327
特別損失合計	3,633	320,636
税金等調整前四半期純利益	123,025	810,608
法人税等	303	99,169
四半期純利益	122,722	711,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	306,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,722	405,306

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	122,722	711,438
四半期包括利益	122,722	711,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,722	405,306
非支配株主に係る四半期包括利益	-	306,132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ215,883千円増加しました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が259,059千円、資本準備金が3,901,413千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。